



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 181  
April  
2008

## トピックス

### メンバー国との防災協力推進

ADRC新メンバー国加盟—ブータン、イエメン

### ADRC客員研究員レポート

ザファール・タジ研究員 (パキスタン)

### 人材育成

JICAトルコ研修  
「自治体防災能力強化」コースの実施

### お知らせ

↑ ADRCのホームページリニューアル

↑ 異動

Asian Disaster Reduction Center  
アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.or.jp  
<http://www.adrc.or.jp>

© ADRC 2008

## ● メンバー国との防災協力推進

### ADRC新メンバー国加盟 — ブータン、イエメン

ブータン、イエメン両国政府よりアジア防災センター (ADRC) メンバー国への加盟申請があり、25のメンバー国からの同意も得られたため、このたびメンバー国として迎え入れることになりました。ADRCは両国の積極的な参加を得て、より一層充実した活動に取り組んでいく所存です。両国の防災情報を取りまとめたカントリーレポートをADRCのホームページに掲載していますのでご覧ください。

(<http://www.adrc.or.jp/disaster/index.html>)

## ● ADRC客員研究員レポート

### ザファール・タジ研究員 (パキスタン)

パキスタンから来ましたザファール・タジと申します。私の出身は極北、北部地域の美しい渓谷地域で、世界最高峰が連なる三つの山脈、ヒマラヤ山脈、カラコルム山脈、ヒンドゥークシ山脈の合流点に位置しており、北極圏に次いで多くの氷河が存在しています。カラコルム山脈だけでも世界第2位のK2 (8,612メートル) を始めとして、7,500メートル以上の山々が30座あり、切り立った岩壁や深い峡谷が垂直にそびえ立ち、壮大な景観を成しています。



私の役職は北部地域総務局の副局長ですが、当地の地域災害管理局の副局長にも任命されており、災害発生前、発生後の防災計画の実施、州・地域間、地域の関連部局、NGOとの調整を担当しています。現在、地域災害管理局では当地での初期段階の活動として、法制度、インフラ整備に取り組んでいます。

ほかの南アジア諸国同様、パキスタン、そして北部地域でも自然災害、人的災害が頻発しており、人々の生命及び生活を脅かしています。中でも洪水、干ばつ、地震、疫病、輸送事故、火災等は、わが国で多発する災害です。北部地域 (州都ギルギット) は地震帯上に位置するため地震が多く、また干ばつ、地すべり、雪崩、洪水、鉄砲水などがよく起こる災害として挙げられます。

## 続き

パキスタンでは2005年まで災害は、伝統的・慣習的な手法で対処されてきました。しかし、2005年10月8日、北西辺境州、アザド・ジャム・カシミール州、イスラマバードで約7万3,000人が犠牲となった大規模地震が契機となり、政府・政策決定機関は、予期せぬ緊急事態に対応するために、改めて総合的、近代的メカニズムを導入する必要性を認識しました。これまでに地震復旧・復興庁（ERRA）及び国家災害管理局（NDMA）の設立、建築基準法の導入等が行われてきました。防災に関する取り組みは、災害管理の初期段階にあるパキスタンにとって新しい分野です。ここで、私が災害に関する知識、情報、理解を必ず深めることになるであろう、本研究プログラムへの参加機会を与えてくださったADRC、そして日本政府に対して厚くお礼申し上げます。災害発生前・発生後の防災戦略の調査、フィールド訪問等多岐にわたる本プログラムへの参加を通じて、NDMAにおける優良事例実践に向けた取り組みが強化されるものと確信しています。



## ● 人材育成

### JICAトルコ研修「自治体防災能力強化」コースの実施

ADRCは、国際協力機構（JICA）から委託を受け、2005年度から2007年度にかけてトルコ研修を日本で実施しました。最後の本邦研修となった「トルコ国自治体防災能力強化」コースは、2008年2月25日から3月14日にかけて東京、新潟、静岡、兵庫などを中心に実施されました。研修の主な目的は、日本の自治体における防災体制・対策について理解し、コミュニティ防災を推進する手法について習得することでした。

研修員は、土木、都市計画などを専門とするトルコの自治体職員10名で、日本政府／地方自治体の防災政策、耐震設計・補強、震災後の都市計画、NGOによるまちづくり、住民の意識啓発、ライフライン防災、タウンウォッチングなどについての講義を3週間にわたり受講しました。

研修員たちへ日本の都市計画について印象に残ったことを聞いてみると、まず返ってきたのは「公園の数が少ない」、「道路の幅が十分ではない」ということでした。日本とトルコの都市計画は全く違うとの声も多く聞かれました。トルコは、日本の国土の約2倍、人口は日本の約2分の1という広々とした土地を有していることから、日本の密集した住宅や道幅の狭い道路はトルコの人からの目では防災の観点から多くの危険をはらんでいるように映ったようです。



## 続き

また、ある研修員は、まちの開発を行う際に行政が行う住民向けの説明会は、まちづくりについて説明するだけでなく、住民に対し防災面での意識啓発を行うことができるといった面からも、大変よいシステムであるとの意見が聞かれました。

研修の最後に発表された研修員からのアクションプランには、住民の意識啓発、関係機関の連携、都市計画への防災の視点の統合、避難所の耐震化・設備の配置などの重要性について挙げられていました。各研修員は、それぞれ作成したアクションプランを各自自治体に持ち帰り、今後の防災施策に活かすことになっています。

当研修の実施にあたり、快く訪問等を受け入れていただきました各関係機関の皆様には、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## ● お知らせ

### ADRCのホームページリニューアル

ADRCのホームページが2008年4月1日よりリニューアルしました。ADRCが1998年に設立されて以来、これまでのホームページを通じて、メンバー国をはじめとした防災関係者へ様々な災害情報の提供を行なってきましたが、既に10年を経過し、その間、蓄積された膨大なデータへのアクセスをより一層スムーズとすべく、トップページ等を見直し、ユーザーの使い勝手のよいホームページにリニューアル致しました。ADRCでは、新しいホームページを通じ、これまで以上に、メンバー国をはじめとする防災関係者へ有益な防災関連情報の提供をしていく所存です。[\(http://www.adrc.or.jp/\)](http://www.adrc.or.jp/)

## 異動

2008年3月31日をもって長野公一管理部長及び村田昌彦参事（IRP復興専門官）、白鳥隆昭主任研究員、齋藤亮研究員がそれぞれの出向元に異動となりました。また、4月1日付で大西正高が管理部長に、今井良広が研究部参事（IRP復興専門官）に、大堀正人が主任研究員として着任いたしました。

### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) までEメールをお寄せください。